

NEWS
その1

事業の進捗について市から説明がありました！

和泉市は、令和2年3月に「和泉市富秋中学校区等まちづくり構想」を策定し、令和4年3月に各施設の整備に関する基本計画を策定しました。

令和4年11月9日(水)に令和4年度第2回富秋中学校区等まちづくり検討会議*を開催し、和泉市より、事業の進捗状況について説明がありました。

なお、第一回検討会議は、新型コロナウイルス感染拡大のため書面開催とし、今後のスケジュール等を共有しました。

現在、和泉市では、事業手法の検討や事業者の決定についての支援を委託するアドバイザリー業務（令和4年度から令和6年度の3か年）を実施しています。今年度は、事業の仕様書にあたる要求水準書案等の作成予定であり、これまで検討会議にて意見交換してきた内容を踏まえつつ、今後も意見交換を実施しながら、取り組んでいきます。

*「富秋中学校区等まちづくり検討会議」とは、「まちづくり構想（地域案）」の実現をはじめ、将来にわたって住み続けたい魅力あるまちづくりを推進するために、地域の住民の方などにより設立された組織です。

NEWS
その2

民間事業者事前サウンディングの結果について

和泉市は、アドバイザリー業務において、より多くの民間事業者の参加を促し、より良い提案を求め、事業の実現性を高めるため、各施設の整備に関する基本計画を基に、民間事業者への事前サウンディング調査を実施しています。

民間事業者の意見としては、直近の建設コストの高騰等の社会情勢の変化もあり、1期から3期の約8年にわたる長期事業は民間事業者にとって非常にリスクが高くなるため、事業参画へのハードルが高くなるというものでした。

NEWS
その3

民間事業者事前サウンディングの結果を受けて

今後、和泉市としては、より良い民間事業者からの提案を得るために、事前サウンディング調査結果での長期に渡る事業期間の課題解決に向けて、市営住宅の整備を1期から2期で完了する案も検討しています。

基本計画において、市営住宅の高さ（階数）の想定を「7～9階建」としてありますが、「7～10階建」とすることで、現在の旭公園と和泉第一団地敷地に市営住宅550戸及び(仮称)多世代交流拠点施設を1・2期で整備するものです。この場合、一部入居者の移転時期の早期化や民間事業者からの多くの提案に期待できる等のメリットに期待できます。

しかし、この案は、民間事業者からの提案のある可能性のひとつで、今後詳細な計画条件のメリット・デメリットの整理をし、検討を進めていきます。

市営住宅1～2期工事（約6年）で550戸整備案



問合せ
連絡先 和泉市都市デザイン部都市政策室富秋中学校区等まちづくり担当（担当：三浦^{みうら}）
【メール】tm@city.osaka-izumi.lg.jp 【電話】0725 - 99 - 8208

当日資料の詳細については、市HPに掲載されており、以下のQRコードより、HPにリンクしていますので、ぜひ、ご確認ください。

